

那珂川 ヒストリー

特別展

—水と共に生きた人々—

常陸名所図屏風(個人蔵、奥州市牛の博物館寄託)

令和5年 2月4日(土)—3月12日(日)
水戸市立博物館 4階・3階展示室

開館時間 9時30分～16時45分 休館日 月曜日

入場料 一般200円(20名以上の団体は150円)

18歳以下、65歳以上、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者と付き添い1名は無料、その他各種割引あり

主催 水戸市立博物館

後援 茨城大学人文社会科学部
茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク

ハッピーホリデー

会期中の土・日・祝日に限り、
18歳以下のお子様1名につき

大人1名 **無料**

おことわり 新型コロナウイルスの感染状況等により、
予告なく入館者数の制限や催事内容の中止
または変更をする場合があります。

おねがい 入館時にはマスクの着用、
検温、手指の消毒をお願いします。

水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

Tel.029-226-6521

みとしかく

検索



特別展公式
SNS
Twitter



水戸藩御用物資の搬送に使われた荷札



「水戸家御用の荷札」
個人蔵

那珂川から江戸につながる水路を描いた最古の常陸名所図



「常陸名所図屏風(左隻)」個人蔵(奥州市牛の博物館寄託)

那珂川の特産品の鮭



「那珂川の鮭漁」個人蔵

にぎわいを見せた那珂川河口の湊

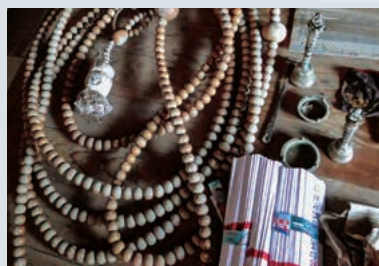


「常陸湊村町内別明細絵図」
ひたちなか市教育委員会蔵 ひたちなか市指定文化財

特別展 那珂川 ヒストリー

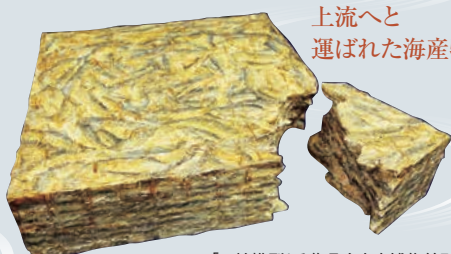
— 水と共に生きた人々 —

水戸市内を流れる那珂川は、那須岳に源流を発し、本流の長さ二五〇キロメートルにも及ぶ、茨城県を代表する河川の一つです。その流れは人や物を運び、奥州・下野や江戸と水戸とを結びつけました。那珂川がもたらす鮭や鮎などの豊かな水産資源やその水を利用した農業用水は、流域の人々の暮らしを潤してきました。その一方で、豊富な水量は水害という形で人々の生活に牙を向けることになりました。本展覧会では、こうした様々な顔を持つ那珂川と向き合い、共に生きてきた人々の営みの歴史をたどります。



《特別出品》
令和元年東日本台風
による那珂川の
水害から救出された資料

「薬師堂の民間信仰資料群」
上国井自治会薬師樹林を
再生する会管理
水戸市地域文化財



上流へと
運ばれた海産物

「鮎粕模型」千葉県立中央博物館蔵

関連行事

《電話申込み先》Tel.029-226-6521

参加無料

《特別講演会》

「下野から見た那珂川水運・内川廻し —江戸・太平洋への百姓のまなざし—」

江戸時代、那珂川水運や常陸を通る内陸水運を利用して、下野や奥羽の産物を江戸へ大量に売り込むという壮大な計画がありました。その実現に向けて奔走した百姓たちの姿を、最新の研究成果から紹介します。

令和5年2月25日(土) 13:30~15:00

会場 ▶ みと文化交流プラザ6F大会議室
講師 ▶ 平野哲也氏(常磐大学人間科学部教授)

《電話申込み》

1月27日(金) 9:00~【先着順】

定員

100名

オリジナル 掛軸を作ろう

机にも飾れるかわいらしいミニ掛軸を作ります。

令和5年3月4日(土) 13:30~15:30

会場 ▶ 3階視聴覚室
講師 ▶ 高村晴幸氏(当館ボランティア)

《電話申込み》

2月10日(金) 9:00~【先着順】

定員20名

申込は小学5年生以上

講演会「那珂川の鮭漁

① —竹留漁と留網漁を中心に—

水戸近郊で行われた那珂川の鮭漁の実態について、長年の調査成果をもとにお話します。

令和5年2月19日(日) 13:30~15:00

会場 ▶ 3階視聴覚室
講師 ▶ 鈴木祐志氏(水戸まちづくりの会副代表)

《往復ハガキまたはメール申込み》

2月3日(金) 必着 ※詳しい応募方法は右記をご覧ください

定員

30名

講演会「水戸城下の水害史

② —水害記録を読み解く—

水戸城下を襲った大洪水の様子を、江戸時代の水害記録から解き明かします。

令和5年3月11日(土) 13:30~15:00

会場 ▶ 3階視聴覚室
講師 ▶ 藤井達也(当館学芸員)

《往復ハガキまたはメール申込み》

2月3日(金) 必着 ※詳しい応募方法は右記をご覧ください

定員

30名

ギャラリートーク

本展担当学芸員が展示の見どころを解説します。

令和5年2月5日(日)、

2月23日(木)、3月12日(日)

11:00~11:30、14:00~14:30

会場 ▶ 4階展示室

講師 ▶ 藤井達也(当館学芸員)

申込み不要、時間までに会場にお集まりください
※展覧会入場券が必要です

講演会①、②へのご参加をご希望の方は、往復ハガキまたはメールに、下記情報を記し、2月3日(金)必着で水戸市立博物館までお申し込みください(申込者多数の場合は抽選を行います)。

- 申込人数(1グループ2名まで)
- 代表者氏名、郵便番号、住所、電話番号
- 参加講座名(複数申込可)

《往復ハガキ》
〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20
水戸市立博物館宛

《メール》
mitoshihaku_yoyaku@city.mito.lg.jp



水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

Tel.029-226-6521

みとしはく

検索



【JR・バス】▶ JR水戸駅から大町方面行きバスで南町3丁目下車、常陸太田方面へ徒歩10分
【クルマ】▶ 常磐自動車道水戸インターまたは那珂インターより水戸方面へ20分
▶ 常磐自動車道水戸北スマートインターより水戸方面へ10分
【駐車場】▶ 約20台(無料・中央図書館と共用)
満車の場合は周辺駐車場(有料)をご利用ください

交通案内